

消化器内科研修プログラム

I 一般目標 (GIO)

消化器内科領域の概要を把握し、腹部領域の問題を持つ患者の臨床的評価・治療計画の作成ができるようになるために、知識、技能、態度を習得する。

II 行動目標 (SBO)

- * 基本的な問診と身体診察法を正しく行い、診療録に記載できる。
- * 身体所見、検査結果に基づいて、必要な諸検査を計画し、疾患の病態評価を行える。
- * 診断法、治療法を理解し、患者にとって最適な治療法を選択できる。
- * 治療に必要な基本的知識と技術を習得する。
- * 患者・家族が納得できるインフォームドコンセントを実施できる。
- * 救急患者に対する基本的な検査、処置を習得する。
- * カンファレンスで受け持ち患者のプレゼンテーションを行える。

III 方略 (LS)

- * 入院患者を指導医とともに受け持ち、問診、診察を行い、診療録に記載する。
- * 指導医のもと、診断、治療のために必要な検査の組み立てを行う。
- * 一般撮影、CT、MRI、消化管造影、内視鏡検査の所見を、指導医とともに読影する。
- * 指導医のもと、基本的知識（薬物療法、輸液・輸血療法）と技術（採血法、注射法、静脈確保、気道確保、腹腔穿刺、胃管挿入、超音波検査、内視鏡検査）を習得する。
- * 指導医の行うインフォームドコンセントに立ち会う。
- * 指導医とともに救急患者（急性腹症、吐血、下血、腸閉塞）の診察に参加する。
- * 指導医とともにカンファレンスに出席し、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- * 経験した食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎など）のレポートを作成し、指導医のチェックを受け提出する。